

**清掃路肩・橋梁集水ます清掃（リフト等）作業手順書**

会社名	中日本ハイウェイメタ古屋株式会社	施工ケース	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	平成24年4月1日		2tトラック、高圧洗浄車等	バル、ハンマー、みこみ袋、ほうき	保護帽、手袋、安全靴、安全フック、保護眼鏡、防護ネット、ヤック、長靴	水
改訂日	令和1年7月10日					
作成者	改訂者 澤田					
必要資格等	運転免許(旧普通・中型)、職長教育講習				作業人員	その他 8名

可能性	1:ほとんどない(5年以内)	2:たまに起こる(1年以内)	3:かなり起こる(6ヶ月以内)	×	重大性	軽微(不労災害)	重大(休業災害)	極めて重大(死亡・障害)	=	評価	対策変更の必要なし	対策が必要	即座に対策が必要
	危険度:1	危険度:2	危険度:3			危険度:1	危険度:2	危険度:3			1~2	3~4	5~9

作業工程	施工ケース	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	評価 可能性	評価 重大性	危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	対策後		評価 可能性	評価 重大性	備考(別紙も可)	
									1	2				
準備作業	共通	1	・作業前ミーティング											
	共通	2	新規入場者のフォローをする。	距離、施工方法等について十分な知識を持っていない。	2	2	新規入場者の受講	職長	1	2	2			
	共通	3	健康状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断ができない。	2	1	体調の確認、フックの点検を行う。	職長	1	1	1			
	共通	3	服装、保護用具の点検をする。	作業完了後の点検がある。からみでへの音が鳴らない。	2	2	履物に、事前点検を実施させる。	全員	1	2	2			
	共通	4	機械、規制材等の準備、点検をする。 (備品の規制材は使わない。点検確認)	知識に乏しい/規制材がない。車両の不具合。	2	1	担当者の指導を受ける。事前打合せをする。	全員	1	1	1			
	共通	5	新札、キーチェーンを行う。	規制材に接触し易い。	2	2	事前点検を確実に実施する。	全員	1	2	2			
	共通	6	作業手順の確認をする。	連絡と関係に入り事故を起こす。	2	2	KEYチェーンにて危険箇所を確認する。	全員	2	1	2			
移動	共通	7	車両点検、荷姿、シートバックをする。	積荷等が落下する。	3	1	緊急時の合図、連絡方法を確認しておく。	全員	2	1	2			
			規制材の落下。		2	3	トラックなどをアオリしない。ロープによる養生。	全員	1	3	3			
			業務用プレートの不正使用。		2	1	プレートチェーンを自主メンテ職員にて行う。	職長	1	1	1			
	共通	1	・道幅への準備											
	共通	2	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故、携帯電話使用、シートベルト。	2	3	ハッチの1員であることを見守り運転する。	運転手	1	3	3			
	共通	2	高速道路に入る前には、プレートを確認して行く。	プレート区域外使用。	2	1	車両点検時、緊急アオリプレートを確認して行く。 (直走、メチャ車)	全員	1	1	1			
	共通	3	出発、(後戻りは関係無難を入れてから)	管制センターが状況判断できない	2	1	2	出発時には関係するよう連絡させる	後援助手	1	1	1		
共通	4	義務者の休憩施設、B5等に待機。	駐車スペースが狭く、一般車両とぶつかる	2	1	2	一部車両に配慮して駐車する。中では道路幅のワザード点検する	運転手						
共通	5	車両は、ハンドル切、サイドブレーキ、ブレーキを必ずする。	車両が動いて、他のものに接触する。	1	2	2	運転中は、ハンドル切、サイドブレーキ、停止のブレーキを握り続ける。(必ず行う)	全員	1	2	2			
共通	6	SAPA等での車両の駐車	後退時に一般通行車、駐車車両に接触する											
本作業	共通	1	集水ますのふたを外す。	蓋を破る										
	共通	2	養生は、安全管理に心がける。	作業中の安全行動。	1	1	1	職長は作業より、安全管理・仕上げ員に指導する。	職長					
	共通	3	集水ます内部のゴミを取り除く。	作業物が怪けに付着する										
	共通	4	集水ます内部の洗浄と通水確認を行う。 下流の通水確認者と確認を取り合う。	水の飛散、配管の破損による下流での水漏れによる人身やへの被害。	1	1	1	下流での通水確認者が、水漏れを知らせて監視を行い、流れを確認し1の場合には直ちに集水操作を中断し、現場への注意喚起等をし、安全を確認する。	全員					
	共通	6	ふたを閉める	手足の指を挟む。	1	1	1	手足の指を挟まないよう注意し合う。	全員					
	共通	7	仕上がりを確認する。	工具等の破れ物が無いかの確認を行う。										
	現場確認	共通	1	作業車両確認	通行車両との接触。	1	2	2	運転手は誘導員なしでは動かない。	運転手	1	1	1	
					1	2	2	運転手と助手は一般車の切れ目が安全で300m以上あると確認した後、流出する。※誘導員不在の場合	運転手・助手	1	1	1		
共通事項	(1)	① 属員作業場所の上流側での注意喚起等による安全対策の徹底！												
		○1人作業は協力確認する。作業時に一人となる場合は、安全な場所に待避する。												
		・心電計着用時は誘導員の監視の下で実施。												
		○安全監視員(交通誘導員)を必ず配置する。												
		・緊急時の合図や連絡場所を確認												
		○通行車確認での作業は原則的に行わない。												
		・心電計着用時は誘導員の監視の下で実施。												
	(2)	属員停止車両の有形成り手確認での作業の禁止！下記①～④の内、いずれかの対応を実施。												
		① 集合アオリ車へのアオリクランプの設置(任意車対峙済み)												
		② 車両名指フックへのカラビナ付ロープの固定												
		③ リース車等においてはロープ固定による取付(乗員等乗付車専用)												
		④ 直近の林道脇や遊歩道等箇所の安全な場所にシート、ネット掛けの確認。												
	(3)	車両への換装は、供用車種の反対側から実施！												
	○ 給油車等で供用車種の反対側からの換装が困難な車両は除くものとする。													
	○ 心電計着用車両からの反対側からの換装は、上流側に監視員を必ず配置し、換装により乗降する。													
	・換装は監視員が先に供用車種の反対側から降車し、換装時は監視員が最後に供用車種の反対側から降車。													
(4)	車両進入時の安全対策(下部のいづれか、もしくは両方)													
	○ 大型車両(縦向き後部車)の配置 作業現場より20～40mの位置に配置(現場にあわせて調整)													
	○ とるん、とるんソウの設置 作業現場より60mの位置に設置(作業現場が狭くときは、とるんソウも現場にあわせて調整する。)													